

第 32 回日本臨床工学会を終えて

第 32 回日本臨床工学会が『時代に輝く臨床工学技士をめざして』というテーマを掲げ、5 月 14、15 に茨城県つくば市にて開催されました。

私は『ペースメーカー遠隔モニタリングシステムの導入の取り組みと今後の展望』という演題で発表者として参加するとともに、『AMG 血管造影室ワーキンググループの活動報告』の共同演者として会場で聴講しました。医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアが進められ、臨床工学技士も業務範囲が拡大される中で、血液浄化や呼吸、循環など様々な分野における他施設の取り組みを多く聞くことができました。臨床工学技士として、自施設で今後の医療にどのように関わっていくことができるのか考える機会となりました。

今回の学会に参加し、自施設では経験できない貴重な話を聴き、モチベーションを高めるとともに、日々の業務に活かしていきたいと思います。

彩の国東大宮メディカルセンター 小林裕也

